

地域ICTクラブ 熊本市防災ICT人材育成協議会

- ▶ [地域ICTクラブとは](#)
- ▶ [モデルごとに活動報告を見る](#)
- ▶ [地域ICTクラブの講座\(教材\)の好事例を見る](#)
- ▶ [参考資料](#)

実施概要

地域ICTクラブ名称
みんなの防災ICTクラブ

協議会等名称(代表団体名)
熊本市防災ICT人材育成協議会
(代表団体：(一社)SCBラボ、主な協議会構成員：崇城大学、熊本市教委など)

実施地域
熊本県熊本市

事業の狙い

- 地域からイノベーションを創出できる人材をキッズから大人まで育成(キッズイノベーター)
- 持続的な学びの場の提供と独自の教育プログラムの開発
- 防災をテーマとしたICTスキルの向上
- ICTを用いたイノベーション創発の取り組みの拡充(県外ICT企業との連携強化)

取組のポイント

□ 持続的な学びの場

- 崇城大学IoT・AIセンターの活用とSCBイノベーションアカデミーとの連携

□ 独自教育プログラム

- イノベーション創発のためのSCB理論の活用
- 出版社と連携した教材の開発と販売
- 避難経路誘導システムの独自開発

協議会構成


熊本市防災ICT人材育成協議会

- ├── 一般社団法人SCBラボ(代表団体)
- ├── 熊本市教育委員会
- ├── 崇城大学
- └── 熊本市少年少女発明クラブ

メンター育成



メンター募集

- 「地域イノベーション創発」「ICT」「子どもへの指導」などに興味を持つ3年程度継続可能な人材を公募。同時に発明クラブ講師から募集。(報酬有り・経験不問)
- 活動持続化のため11名育成



メンター育成内容

- ICT技術を用いて新結合イノベーションを創発する手法を学ぶ
- 避難経路誘導システムの使用手法やIoTデバイスのセットアップ手法を学ぶ
- Googleクラウドやドローンの使い方を学ぶ
- 成果発表会に向けてプレゼンテーションの仕方を学ぶ
- 最先端の崇城大学IoT・AIセンターの利用操作手法を学ぶ

講座企画～実施

教材・カリキュラム

- 独自開発教材
- ★ 避難経路誘導システム
- ★ Googleクラウドサービス防災活用テキスト
- ★ Pythonプログラミングドリル(参加者の意見を反映し書籍として出版)
- カリキュラム
- (1) 防災プログラミングコース
- (2) クラウド活用防災コース
- 機材

崇城大学IoT・AIセンター備付システム, IoTデバイス, 各種センサー, ドローン, PC等




講座の様子

- イノベーション(新結合)創発手法を学習
- 独自開発されたシステムと教材を駆使しチームで防災ソリューションを提案
- 参加児童が自ら取材対応し意義を発信

(成果発表会・3グループ)

- (1) 津波発生時避難システム
- (2) 地震による火災発生時の避難経路誘導システム
- (3) 外国人に対して(1)(2)の2つのシステムの利用法を周知するWEBサイト作成

※ 星台博士のプログラミング特別講座開催






成果

令和元年度実績

クラブ設置総数(ヶ所)	1ヶ所	
講座実施総数(回)	9回	
構成員種別	主な属性	人数(名)
参加児童等	小学生1-3年生	6人
	小学生4-6年生	19人
	中学生	10人
メンター	一般・教師・発明クラブ講師	11名
サポーター	ICT企業関係者	4名

メディア掲載実績

- テレビ放送2局(2回)
- ラジオ放送1局(3回)
- 新聞2紙(3回) Web/SNS多数



自走化に向けて

- (一社)SCBラボが運営するイノベーション創発を学ぶ学校「SCBイノベーションアカデミー」と連携して継続実施
- 崇城大学と連携し、崇城大学IoT・AIセンターを子どものイノベーション創発とプログラミングの拠点として継続実施
- 熊本市教育委員会・熊本市内高校と連携し講座開催

問い合わせ先

一般社団法人SCBラボ
 監事 内藤豊(崇城大学助教)

mailto:atmark@scblab.jp
 ※迷惑メール対策のため、「@」を「atmark/」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。
 096-326-3111(崇城大学)

<https://scblab.jp/about-scb/project/15-education/49-ictclub.html>

活動報告書のダウンロード

[PDFファイル](#)